

■第一部/大会式典
第17回静岡県ニュービジネス大賞発表

静岡県ニュービジネス大賞

静岡油化工業（株） 代表取締役 長島 敏彦

静岡市駿河区広野字南前2311-5

【投資理由】 産業廃棄物である豆腐のおからを原料として、バイオエタノールを開発・製品化。副産物（酸液残渣）は肥料化するなどエネルギー問題への対応やリサイクルなど地球環境保護に貢献した。

BioROIS（株） 代表取締役 富川 徹博

三島市一番町15-28 ミシマスルガビル5階

【投資理由】 国立遺伝学研究所出身の研究者たちのベンチャー企業。遺伝子の出穂特許技術を基に、遺伝子研究のための生物資源運搬方法を、輸送簡便性に優れた保存カート型にした。遺伝子研究における時間短縮やコストダウンに貢献。

やまと興業（株）アイビーエックス事業部

代表取締役 小杉 昌弘

浜松市北区新緑田4-4-1

【投資理由】 輸送用機械製造および超硬合金技術を、まったく異なる食品分野に生かし、超微粉末製品（お茶）を開発。製造業における異分野への積極的な挑戦が高く評価された。

静岡県ニュービジネス奨励賞

丸大鉄工（株） 代表取締役 大石 誠一

浜松市東区有玉北町1200

【投資理由】 特殊な超硬丸鋸の開発ノウハウを生かし、竹を素材にした新製品（食品）を開発。国内の研究開発の課題とされていた竹の有効利用に貢献。

アスター（株） 代表取締役 名倉 健

浜松市中区真1丁目10-19

【投資理由】 廃材として処理されていた木材の屑皮を、滋州の伝統的な製菓法とコラボレートし、木材繊維衣料・内装材などに有効活用。環境保護に貢献。

（株）スポーツウェルネス総合企画研究所

代表取締役 土屋 詔二

三島市文藝町1-7-25

【投資理由】 小林寛道東大名誉教授が研究開発した「認知動作型トレーニングシステム」の革新性に着目し、同システムを活用して地域住民の健康づくり等に貢献。

東海部品工業（株） 代表取締役 盛田 延之

沼津市双葉町9-11-12

【投資理由】 自動車向けボルトの製造から、医療用機器の開発など新たな分野に挑戦。8割を輸入に頼るインプラント製品等で日本人に合う製品や手術用機器の開発を手掛け、医療の向上に貢献。



静岡県ニュービジネス大賞受賞の3社



静岡県ニュービジネス奨励賞受賞の5社



大会式典会場